



市立岸和田市民病院だより

うらら

第 8 号
平成30年3月

【発行】
市立岸和田市民病院
広報委員会

特集

病院を支える 様々な職種

- ・患者給食調理室
- ・中央滅菌室
- ・中央監視室



(院内庭園「風の森」にて)

当院は泉州地域唯一の国指定「地域がん診療連携拠点病院」です

【目次】

- P.2…広報委員長よりひとこと
様々な職種特集(患者給食調理室)
- P.3…様々な職種特集(中央滅菌室)
- P.4…様々な職種特集(中央監視室)
- P.5…医療技術局Pick Up～薬剤部～
- P.6…看護専門外来の話～糖尿病透析予防外来～
世界糖尿病デーのイベント開催
- P.7…ベビーマッサージ、がん教育講座
- P.8…写真館(ロビーコンサート、
大規模災害訓練、産婦人科講座)
栄養簡単ミニレシピ

～基本理念～

- ・市民の皆さんが安心して心のこもった良質な医療を受けられる病院をめざします。
- ・患者さん一人ひとりの権利と安全を確保し、絶えず向上心をもって皆さんに信頼されるよう努めます。

～基本方針～

- ・市民の皆さんが安心して良質な医療を受けられるように高度・専門医療と救急医療を充実する。
- ・患者さんが医療の中心であることを忘れず、個人の知る権利と決定する権利を尊重する。
- ・患者さんと職員の安全を確保する。
- ・地域の中核病院として地域医療連携を推進する。
- ・職員の教育・研修を充実し、絶えず向上心を持って努力する。



温かい心をもって、
良質で高度な
医療を提供します。

広報誌

うらら

泉州地方では、わたし達・おれ達という意味で、「うらら」や「おらら」が使われていました。いつまでも、わたし達・おれ達に愛される市民病院でありたいとの願いをこめて、「うらら」と名付けました。



市立岸和田市民病院
ロゴマーク

このマークは岸和田市の頭文字「K」と「若葉」をモチーフに大空に飛び立つ鳥をイメージしています。「若葉」には若々しさや、健康、信頼関係。そして質の高い医療を温かい心で市民のみなさまに提供する心を表現しています。また飛び立つ「鳥」には地域医療の中核病院として、地域とともに発展していく姿を表現しています。

【特集】病院を支える様々な職種

広報委員長よりひとこと

本号より新しい特集「病院を支える様々な職種」が始まります。

市立岸和田市民病院ではたくさんの職員が働いています。ご利用いただく皆さまがあまり目にする事のない部署の人たちにもたくさん支えられています。病院という大きな組織のなかで、すべて欠かすことのできない仲間です。

この特集は、「病院を支える様々な職種」にスポットライトを当てます。より市立岸和田市民病院を知っていただくことにより、当院がもっと皆さまに身近で愛される存在になれたらと願っています。

患者給食調理室

普段の仕事内容

私たちは主に朝食、昼食、夕食の調理、盛り付け、食材の発注を行っています。お食事を食べられている全患者様の料理に異物や間違っただけのお食事がのっていないか1つずつ確認し、温冷配膳車で病棟まで配膳を行っています。

正月やクリスマスなどの行事がある際は行事食と行事カードの作成を行っています。



仕事中のモチベーション・意識していること

どのように盛り付ければきれいに見えるか考えながら盛り付けを行ったり、トレーメイクを行っています。また、患者様が入院中に食事の時間が楽しみになるように、調理・配膳を行っています。



仕事でやりがいを感じる時

患者様が食札に「美味しかった」「また食べてみたい」等の直筆のメッセージをかいて下さっているのを読む時にやりがいを感じます。

いままでで一番印象に残っているできごと

ひな祭りやクリスマスなどの行事食が多く、土用の丑の日にウナギの料理が出ていることに驚きました。だんじりの日に「祭りにかき寿司」という献立があり、岸和田ならではの行事食もあり、驚きました。

岸和田市の印象

春には岸和田城周辺に咲き誇る桜群のある千亀利公園があり、その桜には目を引くものがあります。岸和田は海に面しているため夏には潮の香りを感じることが出来ます。やはり岸和田といえば勇壮なだんじり祭りです。初めてだんじりを引いている姿を見た時には手に汗を握るものがありました。

市民の皆さんへのひとこと

これからも毎日美味しい料理を提供できるようにがんばります。



中央滅菌室

普段の仕事内容

中央滅菌室の仕事内容と致しましては主に医療器材を『滅菌』する事です。

滅菌という言葉自体、余り見慣れない方がほとんどだと思います。

簡単に説明すると滅菌とは、あらゆる微生物（主に細菌類）を完全に死滅、または除去した状態を言います。そして皆さんもよく知っている消毒とは、微生物（細菌）の活動を弱めることを言います。中央滅菌室では、病院内の各部署で使用した再利用可能な医療器材を回収・洗浄・消毒・点検・組立・滅菌を行い、安全な医療器材の供給を行っています。



仕事中のモチベーション・意識していること

手術などで使用する器材は再利用出来るものが多いのですが、特に数が少ない（1個しかない等）器材に関しては、出来るだけ急いで洗浄から滅菌までをしておかないと、緊急の手術等で使用出来なくなる可能性もあるので、いつも気を付けています。



仕事中心やりがいを感じる時

私達が洗浄から滅菌までを行った器材を使用して、手術や検査などを行っていると思うとやりがいを感じ、身を引き締めて作業を行っています。

いままでで一番印象に残っているできごと

初めて手術室の見学をさせて頂いた時の衝撃がこの仕事をはじめで今までで、一番印象に残っています。

岸和田市の印象

岸和田市と言えばやはり、だんじり祭りが一番出てきますが、岸和田には海も、山も、お城もある自然豊かな印象があります。

市民の皆さんへのひとこと

これからも中央滅菌室では、病院に来られる全ての方が安心して、診察や手術が受けられる様に滅菌業務を頑張りたいと思います。



中央監視室

普段の仕事内容

電気・空調の運転管理及び保守整備、水廻りの修理、院内外の施設の点検修理、バット修理、電球交換など、何でもするスタンスで取り組み、お呼びがあれば駆けつけて、出来る限りの修理やお手伝いをさせて頂き、院内の皆様が安全・快適で利用しやすくなるように努めています。



仕事中のモチベーション・意識していること

患者様第一優先（安全第一）で動き、病院に来られる患者様や医師・看護師・ナースエイドなど院内で働く職員の方々により良い環境で過ごして頂きたいと願い、自分達に何が出来るか考え、技術力の向上に励んでいます。

仕事中心やりがいを感じる時

お礼を言われた時はうれしいですが、快適な環境が維持でき、院内外でトラブル等が起きないことが一番良いことです。

今までで一番印象に残っているエピソード

台風の際に、雨水が1階のエントランス内にまで侵入し、ドンドン広がり続ける中、原因を探し当て、復旧のために全員びしょ濡れになって作業したことです。大変でしたが復旧し終わった時の達成感もあり一番印象深い思い出です。



岸和田市の印象

だんじり祭りが近付くにつれて、聞こえてくる太鼓と鐘の音に熱が籠り、初めて祭りを見に行った時の、だんじりを引いている人達以外にも町全体が祭りを中心に動き、見ている人達も熱く活気に溢れ圧倒されたのを思い出します。

市民の皆さんへひとこと

中央監視室のスタッフを見かけたら気軽にお声かけください。私達で出来る事でしたらお手伝いさせていただきます。よろしく申し上げます。



医療技術局PickUp ～ 薬剤部 ～

薬剤師とは？

お薬の調剤、注射薬や点滴の調製・管理、適切なくすりの飲み方の指導、臨床検査などを行うほか、お薬の在庫管理・品質管理を行っています。

主な薬剤師のお仕事

院外処方せん業務

外来では、原則、院外処方せんを発行し、調剤薬局で薬を引き換える方式をとっています。

院外処方せんには、有効期限があり、発効日を含めて4日以内に調剤薬局へ行き、薬と引き換えていただかなければなりません。



入院患者さんの調剤業務

入院の患者さんの薬は、院内で処方せんに従って調剤（患者さんごとに薬を取り揃える事）されます。調剤時には、薬の飲み方・年齢など必要事項を確認の上、調剤し病棟へ届けています。



抗がん剤調剤業務

抗がん剤は、専門の資格を有した薬剤師・医師・看護師がチェックをしたレジメン（メニュー）を事前に登録し、このレジメンを用いて薬を決定します。何人もの専門家が携わることで安全性を高めています。実際の調製は、薬剤部の専用室で薬剤師が処方せんに従って無菌的に調製しています。



お薬は患者さんの治療において大切な役割を担っています。これからも薬学の専門家として薬を安全に届けられるように日々の業務に励みます。

糖尿病透析予防外来

糖尿病は、さまざまな合併症を起こす病気です。その中で、糖尿病性腎症は、糖尿病の3大合併症のひとつです。国内で透析療法を行っている患者さんは32万人を超えており、その内、糖尿病性腎症で透析療法を行っている患者さんは43.7%と一番多くなっており、年々増加しています。



糖尿病性腎症は、1期（初期）～5期（透析療法期）までの段階があります。ほとんどの患者さんは自覚症状がありません。そのため、治療を受けず放置されたまま合併症が進行することが多いので、医師に糖尿病性腎症にかかっていないか相談してもらい、早い段階から治療を行うことが大切です。

私たちは、糖尿病性腎症にかかっている患者さんが重症化（透析療法に移行）にならないように、医師・看護師・栄養士が医療チームを組み、患者さんのお話を聴きながら、患者さんの病気の進行状態や生活状況などに応じて、患者さんが病気とうまく付き合っていくための方法を見つけられるように外来で指導を行っています。



日時：毎週水曜日午前中（予約制）

場所：2階栄養指導室

お気軽に医療関係者に相談してください



世界糖尿病デーのイベント ～みんなで支えるブルーサークル WITH YOU～



皆さん知っていますか？

毎年、11月14日に世界各地で「世界糖尿病デー」イベントが開催されています。これは、世界の糖尿病患者数は2015年に4億1500万人に達し、世界規模で糖尿病に対する注意喚起をするためです。

岸和田市では40歳以上の糖尿病患者が45000人を超え、約4.5人に1人は糖尿病と診断されています。そのため、市民の方々が糖尿病の予防や合併症の進行を抑えられるように、当院でも平成28年から11月14日に世界糖尿病デーのイベントを開催しています。11月を世界糖尿病デー月間として、玄関前にブルーライトアップしたツリーを置き、当院のホスピタルストリートに糖尿病に関連したポスターを提示しました。今回は、患者さんや職員で折鶴を折りブルーサークルを作成しました。イベント当日の11月14日は、岸和田市のキャラクターちきりくんが登場し、イベントを盛り上げました。今年は血糖測定、HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）、歯周病チェック、血圧測定、身長・体重など、糖尿病に必要な測定コーナーを設置しました。ご自分の検査データを知る機会となり、糖尿病について関心をもってもらうことができました。

今年も世界糖尿病デーのイベントを開催する予定です。一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。



ベビーマッサージ

2階東病棟では地域活動の一貫として「わらべうたベビーマッサージ」を開催しています。

赤ちゃんへ期待できる効果

1. 赤ちゃんの脳の発達を促す。
2. 赤ちゃんの免疫力を高める。
3. 赤ちゃんの運動機能が高まる。
4. 赤ちゃんの内臓機能が高まる。
5. 赤ちゃんの呼吸機能が高まる。
6. 赤ちゃんがぐっすり眠れるようになる。
ぐっすり眠ることによって成長ホルモンの分泌が高まるので身長・体重増加が促進される。



お母さんへ期待できる効果

1. 血液循環が良くなり体調を整える。
2. 赤ちゃんの成長や要求をキャッチできるようになり、育児に自信が持てるようになる。
3. 赤ちゃんのちょっとした体調変化に気付けるようになる。
4. 赤ちゃんとの皮膚接触によりホルモンが分泌されて産後の回復が早まり、精神的な安定にもつながる。
5. 親子の絆を深める。

☆ベビーマッサージを行うことは母子相互作用と深く関わり、また昨今核家族化が進む中での仲間作りの場としてはふさわしいものだと考えています。参加も毎回キャンセル待ちになるほどのご好評をいただいています。次回は4月10日(火)春木市民センター、4月24日(火)八木市民センターで開催いたします。

がん教育講座

2017年11月15日岸和田市立北中学校2年生にむけて出張講演を行いました。これは大阪府健康医療部が大阪府がん対策推進計画に基づき、がんについての基本的知識や、たばこの健康影響をはじめ、食生活や運動といった生活習慣とがんの因果関係など、がんの予防につながる学習活動の充実に取り組む事業に協力した活動です。

2017年度ノーベル生理学・医学賞を受賞した「概日リズムを制御する分子メカニズムの発見」について簡単な解説をして、規則正しい睡眠・生活リズムが生活習慣病の予防になることを説明しました。引き続き生活習慣のなかで最も健康被害の誘因となる喫煙習慣について、肺がん・COPD発症のメカニズムを解説しながら、喫煙しないこと・禁煙することの大切さを説明しました。成人後の喫煙も健康被害の原因となりますが、30歳ごろまで成長期の喫煙は身体への悪影響が非常に強く、その後の禁煙にてもダメージから回復は少ないと最近の研究データでも知られています。未来のため現在努力する(我慢する)ことが可能なはずで、自分の将来の健康のために喫煙しない・または禁煙をしてくださいと説明しました。



栄養ミニレシピ

ミラノ風チキンカツ



病院食のレシピを教えてください、というお声を近年多く頂きます。入院中の楽しみは食事だけだ、とおっしゃる方も。栄養バランスを考慮しつつ、なるべくバリエーション豊かに、入院生活が長くなっても飽きないよう配慮し、病院食の献立を日々作成しております。

今回紹介するミラノ風チキンカツは、イタリア料理のコトレッタをアレンジした料理。肉をたたいてのばし、衣をつけて炒め揚げするこの料理は、日本のカツの原型であるとも言われています。

病院食でも人気の一品をご家庭でお楽しみ下さい。一般的なチキンカツよりも低エネルギーですよ。

<作り方>

- ① 鶏むね肉を厚さ5mmぐらいまで叩き、塩こしょうする。
- ② 卵液を作る。粉チーズにオリーブ油を入れ混ぜ、塩を入れる。溶き卵で少しずつのばしていく。
- ③ ①に軽くパン粉をつけ、卵液、再度パン粉をしっかりとつける。
- ④ 包丁の背でグリル模様（格子）を片面のみつける。
- ⑤ 多めの油で④を模様側から先に炒め揚げする。油をきり、溶かしバターにタイム、パセリを混ぜたものを上から塗る。
- ⑥ 器にバルサミコソースを引き、食べやすい大きさにカットしたカツを盛り付け、レモンを添える。

<材料> (1人分)

鶏むね肉(皮なし)	50 g	
塩	0.2 g	
こしょう	少々	
卵	20 g	} 卵液
粉チーズ	1.5 g	
オリーブ油	1.5 g	
塩	0.4 g	
細目パン粉	16 g	
油	適量	
バター	1.5 g	
タイム(みじん切り)	少々	
パセリ(みじん切り)	少々	
レモン	20 g	
バルサミコソース(市販品)	5 g	

栄養量

エネルギー 202kcal たんぱく質 15.4 g
脂質 11.7 g 食物繊維 0.9 g 塩分 0.8 g



大規模災害訓練

写真館

セタロビーコンサート

産婦人科講座

編集後記

うらら8号では当院を支えている様々な職種のスタッフ紹介や市民のみなさま向けの講座、健康に役立つ情報を提供させていただきました。「うらら」を通して市民のみなさまに当院をより身近に感じていただければ幸いです。